

ホールに輝く笑顔と拍手 新しい鑑賞様式での自衛隊演奏会を開催

「西小学校 教育の日」
♪ 陸上自衛隊 第12音楽隊演奏会 ♪



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、9月18日（金）十日町市内において、「十日町西小学校教育の日 陸上自衛隊第12音楽隊演奏会」の開催を支援しました。これは、同校が『音楽鑑賞を通じ豊かな心情を高めて演奏者の姿から表現力及び努力する姿勢を学ぶ』との狙いから計画し、同市の募集相談員で陸上自衛隊OBの庭野 鉄雄氏の発案から、陸上自衛隊第12音楽隊（隊長 2陸尉 原口浩文）による演奏会が実現したものです。

今年度、東部方面隊で初めてとなるこの演奏会は、新型コロナウイルス対策として50%以下の収容率とし、観客席の間隔を充分確保した700人の会場において、関係者を含めた同校児童300名に対して行いました。更に、消毒液の使用、来場者全員のマスク着用、ステージと観客席を仕切る飛沫防止シートの設置等の感染症防止対策を行うとともに、会場での入場動線を分割し、演奏隊員と参加児童との接触が発生しないよう、万全の注意を払い開催しました。



当日の会場となった「越後妻有文化ホール段十ろう」には、学年ごとに児童が順番に入場し、オープニング曲「美中の美」が演奏されると、リズムカルな曲に合わせて大きな拍手が鳴り響きました。

参加児童は、運動会等でお馴染みの「トランペット吹きの休日」では音楽に合わせて体でリズムをとり、表彰式等でよく流れる「威風堂々」ではその迫力に感動しじっくり聞き入っていました。そして、多くの児童が楽しみにしていた物語形式の「となりのトトロ・ストーリーズ」には、映画のストーリーを思い出しつつ、涙と笑いと拍手で鑑賞する等演奏会を楽しみ、メインテーマ「となりのトトロ」が流れると場内の興奮は最高潮に達していました。また、演奏した第12音楽隊員は、フェイスガードごしにも生き生きとした表情で演奏し、力強い音色を響かせていました。

児童代表は、「物語の世界に引き込まれるような演奏に、感動しました。テレビでよく聞く曲も、実際の演奏では凄い迫力で驚きました。ありがとうございました」と感想を述べてくれました。



アンコールでは、人気ドラマでアレンジされた歌謡曲「男の勲章」を歌とダンスを交えて披露し、大盛況の中で演奏会を終了しました。第12音楽隊長は、「無事に演奏会を開催できて、安心した。これを先駆けとして、今後も新しい様式に合わせた会場準備、パフォーマンスを考えて、地域の皆様を勇気づける演奏をしていきたい」と述べました。

今回は新しい鑑賞様式での演奏会でしたが、小学生を始め、関係者に楽しんでもらえたのは大きな成果でした。新潟地本は、今後も状況に応じた自衛隊演奏会を開催できるよう検討していきます。